

居るから何とも出来ぬ爲体である。新聞紙は一葉だも發行されず唯死の静寂を破るはグラントオペラ（歌劇々場）を中心として要所々々を守る騎兵憲兵の蹄の音のみ。

△各國のメーデー

次に一九二〇年五月一日のメーデーの概況を記すならば先づイギリスでは、全國を通じて約八百萬の労働者が一齊に休業して、ロンドンを始め各地に於いて盛んな大示威運動を行つた。ロンドンでは此の日労働者大會が開かれて、ロシアの講和、アイルランドから撤兵する事等を政府に要求する決議案を通過した。又佛蘭西の労働者同盟は早くから宣言書を發してメーデーには廿四時間總同盟

罷業をするを聲明してゐた。當日巴里では早朝から罷業は静寂裡に開始せられて成功した。しかし、一般に廿四時間以後に於いては復舊したらしいが、たゞ鐵道罷業は、全國的に波んし、所謂悪化をして容易に落着しなかつた。列國中でもメーデーを恐れたのはアメリカ合衆國で、検事總長ピアースは、合衆國中の官吏に對して過激主義者等によつて行はるゝ労働日の示威運動を打破するには法律の許す限りを決行すべしと云ふ命令を發したほどその爲め約五十名の犠牲者を出した。

ドイツは、前年は五月祭を國家の祭日として全國休業したが此年は國家的の祭日とする事に多少の反對があつて隨意に休む事となつた。ベルリンでは當日、會社工場は勿論市内電車、地下鐵道等の交